

6. 選考方法

- (1) 選考委員会を設け、選考を行う。
- (2) 選考委員会は一次選考委員会および二次選考委員会よりなる。
- (3) 一次選考委員会はGSCネットワークを構成する28団体から推薦された技術専門委員よりなり、書類審査による選考を行い、候補業績を二次選考委員会に推薦する。
- (4) 二次選考委員会は各界の有識者よりなり、応募者によるプレゼンテーションと質疑による選考を行い、受賞業績を選考する。

7. 選考基準

以下の7項目の着眼点に基づいて応募業績の評価を行う。

グリーン度	科学的・学術的妥当性	新規性・独創性	
想定されるマイナス点や逆効果がないか	経済性・実現性	技術・研究の発展性	
社会的インパクトおよび波及効果			

各位

グリーン・サステイナブル ケミストリー ネットワーク

第10回(2010年度)

グリーン・サステイナブル ケミストリー賞

経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞

業績募集の件

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は当ネットワークの活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

グリーン・サステイナブル ケミストリー ネットワーク(略称:GSCネットワーク)では、2001年度より我が国におけるグリーン・サステイナブル ケミストリーの推進に貢献のあった個人、法人、任意団体にグリーン・サステイナブル ケミストリー賞(略称:GSC賞)をお贈りし、その栄誉を称えて参りました。特に優れた業績には経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞をお贈りしております。経済産業大臣賞は産業技術の発展に貢献した業績に、文部科学大臣賞は学術の発展・普及に貢献した業績に、環境大臣賞は総合的な環境負荷削減に貢献した業績に、それぞれ授与されます。

今般、第10回GSC賞を募集致します。奮ってご応募下さいませようお願い申し上げます。

申請書様式、表彰規程、第1～9回GSC賞受賞業績等についてはGSCネットワークホームページ(<http://www.gscn.net>)、「表彰」のページに掲載しておりますのでご参照願います。

敬 具

グリーン・サステイナブル ケミストリーについて

GSCの定義

エネルギー・資源の制約を克服して環境との共生を図り、安全・安心で持続可能な社会の構築を目指す化学。

GSCの事例

- (1) 以下の項目に貢献する化学技術の確立と製品の創出
 - エネルギーと資源の消費量の低減、
 - 副生成物・廃棄物の発生量の低減や汚染物質の排出防止、
 - 環境負荷を増大しないリサイクル、
 - 環境保全
- (2) GSCに関する評価方法の確立

GSCネットワーク役員

会 長	大宮 秀一 (化学技術戦略推進機構会長)
副会長	中尾 真一 (化学工学会会長)
	片岡 一則 (高分子学会会長)
	岩澤 康裕 (日本化学会会長)
運営委員会	
委員長	島田 広道 (産業技術総合研究所)
副委員長	松方 正彦 (化学工学会)
	伊藤 真一郎 (化学技術戦略推進機構)

＜GSCネットワークを構成する団体＞			
(社)化学工学会	(社)高分子学会	触媒学会	(社)石油学会
(社)電気化学会	(社)日本化学会	(社)日本分析化学会	(社)化学情報協会
(社)近畿化学協会	ケイ素化学協会	(社)高分子学会 高分子同友会	(社)新化学発展協会
(社)日本ゴム協会	(独)産業技術総合研究所	(独)製品評価技術基盤機構	塩ビ工業・環境協会
石油化学工業協会	(社)日本化学工業協会	(社)日本塗料工業会	
(社)プラスチック処理促進協会	(一財)化学物質評価研究機構	(財)野口研究所	
(財)バイオインダストリー協会	(財)油脂工業会館	合成樹脂工業協会	
(財)地球環境産業技術研究機構	(社)日本電子回路工業会	(財)化学技術戦略推進機構	
GSCネットワーク事務局: http://www.gscn.net/ E-mail: gscn@jcii.or.jp			

募 集 要 項

1. 対象となる業績の категория

カテゴリー(A) 製品の製造過程、使用過程、リサイクル過程、使用後の処理過程、等における人と環境の健康・安全に対する影響を低減させようとする技術、製品またはその関連分野において独創的な研究開発を行い、グリーン・サステイナブル ケミストリー(GSC)の推進に大きく貢献したもの。

カテゴリー(B) 概念・手法の開拓または新規現象の発見もしくは解析・解明であって、上記(A)の技術開発の飛躍的展開を促す科学的基盤の分野において独創的な研究を行い、GSCの推進に大きく貢献したもの。

カテゴリー(C) GSCの技術開発や科学研究の成果の普及、関連する社会制度の実現、または教育・啓発等において顕著な活動を行い、GSCの推進に大きく貢献したもの。

上記カテゴリー(A)に該当する技術・製品の例を以下に示す。

- ① 製品の製造から廃棄までの過程において使われる資源、エネルギーを削減する技術(合成法、代替溶媒、分離、プロセス、バイオ技術、触媒、シミュレーション技術、等)
- ② 有害性、危険性を低減し、副生物、廃棄物を削減する技術(代替溶媒、合成法、プロセス、バイオ技術、触媒、リサイクル、浄化・修復、等)
- ③ 再生可能な資源を利用する技術および製品(バイオマス利用、新エネルギー、等)
- ④ エネルギーの削減および環境負荷の低減に貢献する製品およびシステム

2. 応募資格

- (1) わが国におけるGSCの推進に貢献のあった個人、法人および任意団体とし、複数の個人、法人および任意団体による応募も可とする。但し、1業績に対して5個人・法人・団体を上限とする。
- (2) GSCネットワークを構成する28団体の会員であることを要しない。
- (3) 上記カテゴリー(A)、(B)、(C)のいずれかであり、GSCネットワークが開催したGSCシンポジウムでポスター発表した業績であること。但し、第11回GSCシンポジウム(2011年6月2日～3日)においてポスター発表することも可とする。
- (4) 研究や開発活動の終了から概ね5年を経過していない業績であること。但し、評価が定まるのに長期を要する業績で、選考時点から5年以内に顕著な評価を受けるに至った業績も可とする。
- (5) GSCシンポジウムでの受賞者講演、ニュースレターへの寄稿等、受賞に関連するGSCネットワークの諸活動に協力する意志を有すること。

3. 表彰の件数

概ね5件以内とする。

4. 顕彰方法

- (1) 賞記および盾をもって表彰する。表彰は、第11回GSCシンポジウムにて行う。
- (2) 受賞業績をGSCネットワークのホームページやニュースレター等を通して広報する。
- (3) 第11回GSCシンポジウムにおいて受賞者講演を行う。
- (4) GSCネットワークが協賛するGSC国際会議へ講演者として推薦する。

5. 応募要領

- (1) 自薦、または個人による推薦とする。
- (2) 応募提出資料一覧
 - ① GSC賞推薦・申請書 (様式1)
 - ② 業績の内容を記した文書 (A4縦用紙にて横書き2,000字程度)
 - ③ 業績の要点を表す説明図 (A4縦用紙にて1～5図程度)
 - ④ 自己評価シート (様式2)
 - ⑤ 業績に関連する論文および特許のリスト(出願番号、公開番号、登録番号、名称等)
 - ⑥ 業績に関連する主要論文および主要特許 (各3件以内)
 - ⑦ 使用する主要化学品の安全に関する情報 (当該技術においてキーとなる化学品および特殊な化学品に関するMSDS、等)
 - ⑧ ライフサイクルデータシートに基づく評価 (様式3)

(3) 必要提出資料

対象業績の категорияに 応じて以下の資料を提出する。

カテゴリー(A) に関しての応募者:

- ①、②、③、④のシートA、⑤、⑥、⑦、⑧

カテゴリー(B) に関しての応募者:

- ①、②、③、④のシートB、⑤、⑥、⑦

カテゴリー(C) に関しての応募者:

- ①、②、③、④のシートC

注1) 様式1～3は、GSCネットワークホームページ(<http://www.gscn.net>)、「表彰」よりダウンロードし、使用して下さい。

2) 紙資源、二酸化炭素等の環境負荷低減に資するため、資料は論文等も含め電子情報を電子メールで送付して下さい。電子情報化できない場合は、ハードコピーも可とします。

(4) 電子メールでの応募締切り

2010年10月29日(金) 17時 必着

(5) 応募書類の提出先

GSCネットワーク事務局 gscn@jcii.or.jp

【ハードコピー送付の場合】

応募締切り 2010年10月29日(金) 消印有効

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-3-5 富山房ビル2F

(財)化学技術戦略推進機構内 GSCネットワーク事務局

問い合わせ先 E-mail: gscn@jcii.or.jp

TEL:03-5282-7866、FAX:03-5282-0250